



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パルマ
 コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高野 茂久
 (氏名) 上村 卓也

TEL 03-5501-0358

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|------|------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年9月期第3四半期 | 634 | 32.5 | 107 | 37.7 | 106 | 42.4 | 78 | 125.3 |
| 27年9月期第3四半期 | 478 | — | 78 | — | 74 | — | 34 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年9月期第3四半期 | 58.84 | 52.79 |
| 27年9月期第3四半期 | 32.99 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年9月期第3四半期 | 1,293 | 644 | 49.8 |
| 27年9月期 | 825 | 566 | 68.6 |

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 644百万円 27年9月期 566百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年9月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,032 | 45.6 | 123 | 10.7 | 120 | 20.1 | 67 | 20.1 | 50.73 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年9月期3Q | 1,331,200 株 | 27年9月期 | 1,331,200 株 |
| 28年9月期3Q | — 株 | 27年9月期 | — 株 |
| 28年9月期3Q | 1,331,200 株 | 27年9月期3Q | 1,053,600 株 |

(注)当社は、平成27年6月11日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第3四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用は引き続き底堅い状況が続いているものの、中国経済の減速及び英国のEU離脱といった世界経済の不安定な要因が拡大しており、わが国の輸出、設備投資及び消費等にも減速感が出てまいりました。そのような状況の中、セルフストレージ業界は、全体としては引き続き堅調な状況が続いているものの部分的には強弱まちまちな状況も見受けられるようになりました。

このような事業環境のなか、当社は、セルフストレージ事業者向けのビジネスサービスソリューションプロバイダーとしてセルフストレージに関するさまざまなソリューションを提供してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は634,367千円（前年同四半期比32.5%増）、営業利益は107,934千円（前年同四半期比37.7%増）、経常利益は106,492千円（前年同四半期比42.4%増）、四半期純利益は78,324千円（前年同四半期比125.3%増）となりました。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はございません。サービス別の概況は以下の通りであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当サービスはセルフストレージ事業者向けに滞納保証を付加したアウトソーシングサービスを提供するものであります。当第3四半期累計期間におきましては、新規取引先からの受託件数が順調に増加し、当サービスは引き続き堅調に推移しました。以上の結果、売上高は435,255千円（前年同四半期比13.3%増）となりました。

(ITソリューションサービス)

当サービスでは、セルフストレージ事業者における業務効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。当第3四半期累計期間は、在庫管理システム「クラリス」の利用物件数が順調に増加した結果、売上高は18,026千円（前年同四半期比153.6%増）となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

前期より本格的に始動した当サービスでは、セルフストレージ事業者への物件の開発や仲介を行っており、セルフストレージ事業を直ちに稼働できる状態で提供しております。また、自主運営事業者による一括管理依頼や新規参入者の開発支援需要にも積極対応をすすめております。当第3四半期累計期間は、投資家向けのセルフストレージ開発企画コンサルティング及び物件販売が順調に進捗した結果、売上高は181,085千円（前年同四半期比106.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前事業年度末と比べて474,319千円増加し、1,246,801千円となりました。これは主に仕掛販売用不動産が284,772千円増加、販売用不動産が219,191千円増加及び貸倒引当金が13,125千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて6,226千円減少し、46,615千円となりました。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて468,092千円増加し、1,293,416千円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前事業年度末と比べて30,951千円増加し、266,650千円となりました。これは主に短期借入金37,500千円増加、1年内返済予定長期借入金30,252千円増加、前受収益9,456千円減少及び未払法人税等23,943千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて358,816千円増加し、382,163千円となりました。これは長期借入金358,816千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末と比べて389,767千円増加し、648,813千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前事業年度末と比べて78,324千円増加し、644,602千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が78,324千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

※上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

当社は、システム変更に伴い、債権の経過月数別のデータ蓄積及び整備が進んだことを契機に、求償債権に係る貸倒引当金の見積方法を変更し、より精緻に回収不能見積額を算出する方法に変更しました。

これにより当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4,385千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年9月30日) | 当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 546,558 | 462,327 |
| 金銭の信託 | 1,350 | 1,350 |
| 売掛金 | 56,431 | 87,798 |
| 求償債権 | 178,841 | 191,279 |
| 仕掛販売用不動産 | — | 284,772 |
| 販売用不動産 | — | 219,191 |
| 繰延税金資産 | 55,481 | 66,386 |
| その他 | 8,780 | 21,781 |
| 貸倒引当金 | △74,961 | △88,086 |
| 流動資産合計 | 772,482 | 1,246,801 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,277 | 3,651 |
| 無形固定資産 | 37,945 | 32,009 |
| 投資その他の資産 | 10,619 | 10,954 |
| 固定資産合計 | 52,841 | 46,615 |
| 資産合計 | 825,324 | 1,293,416 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 12,500 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 16,188 | 46,440 |
| 未払法人税等 | 38,873 | 14,930 |
| 前受収益 | 126,703 | 117,247 |
| その他 | 41,433 | 38,033 |
| 流動負債合計 | 235,699 | 266,650 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 23,347 | 382,163 |
| 固定負債合計 | 23,347 | 382,163 |
| 負債合計 | 259,046 | 648,813 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 280,359 | 280,359 |
| 資本剰余金 | 190,808 | 190,808 |
| 利益剰余金 | 95,109 | 173,433 |
| 株主資本合計 | 566,277 | 644,602 |
| 純資産合計 | 566,277 | 644,602 |
| 負債純資産合計 | 825,324 | 1,293,416 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 478,852 | 634,367 |
| 売上原価 | 153,787 | 226,924 |
| 売上総利益 | 325,065 | 407,442 |
| 販売費及び一般管理費 | 246,672 | 299,508 |
| 営業利益 | 78,392 | 107,934 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23 | 55 |
| 債権売却益 | 200 | 462 |
| 償却債権取立益 | 155 | 42 |
| その他 | 104 | 39 |
| 営業外収益合計 | 483 | 599 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,069 | 2,041 |
| 上場関連費用 | 2,000 | — |
| 和解金 | 1,000 | — |
| 営業外費用合計 | 4,069 | 2,041 |
| 経常利益 | 74,805 | 106,492 |
| 税引前四半期純利益 | 74,805 | 106,492 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 47,960 | 39,072 |
| 法人税等調整額 | △7,916 | △10,904 |
| 法人税等合計 | 40,043 | 28,167 |
| 四半期純利益 | 34,762 | 78,324 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日）

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日）

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。